

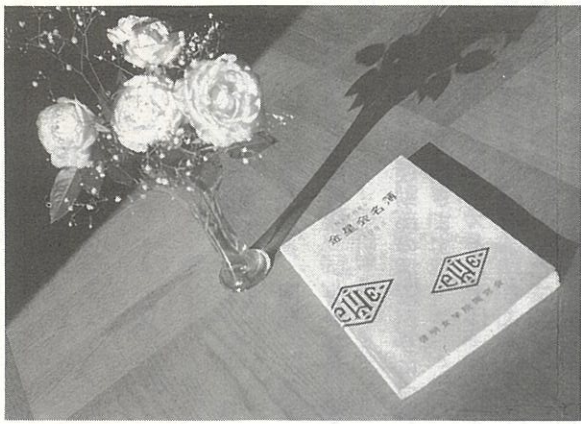


### 創立70周年記念「金星会名簿」完成!

同窓会会長 渡邊 カナコ

No. 6 発行  
神戸市須磨区横尾9丁目  
5番1号  
TEL 741-1506 (代)  
啓明女学院内  
金星会

金星会員の皆様、お元気でいらっしゃいますか。母校創立70周年おめでとうございませう。先の会報No.5でお知らせ致しておりましたように十年振りに、創立70周年記念「金星会会員名簿」が遂に完成いたしましたこと、大変嬉しく存じます。今回の名簿発行にあたりまして、学院当局の温かい御援助と同窓会の皆様の積極的なご協力を頂きましたことを心より感謝し厚く御礼申し上げます。



名簿の表紙は、フェミニンなパープルピンクに金文字が燦めいてエレガントなムードを醸し出しております。実は最初は気品高く奥深い古代紫か、或いは透き通るほど深く澄み切った紺碧に金文字をちりばめた表紙をイメージしておりましたが、紙質見本の中にピッタリの希望色を発見する事が出来ず、一転、淡い優雅なパープルピンクに決まった次第でございます。巻頭の13枚の現・旧校舎の懐かしいカラー写真は、貴女の心を想い出深い乙女時代に一刻彷彿させてくれることでしょう。勿論貴女の恩師の現・旧教職員の方の住所も記載されております。今回始めて、全卒業生の回生・氏名・住所・電話番号がコンピューターに永久入力されました。従来は各クラスとも氏名はABC順でしたが、コンピューター入力の都合上アイウエオ順に変更になりましたのでご了承下さい。全会員の住所を確認しながら住所不明者の追跡調査を数回行いました結果、住所不明率は84%、不明者数は未だに総会員数の16%あります。今後は、住所変更又は不明者の住所判明次第、いつでも啓明女学院同窓会宛にハガキ又は電話でご一報下さいませ。即時コンピューターに入力いたします。

### '92年度 金星会総会開催される

一九九二年十一月七日午後一時半より金星会総会が、神戸オリエンタルホテルにおいて開催されました。一回生から四十四回生まで一〇六名が集まりましたが院長先生をはじめ現教職員十名、旧教職員十名の先生方もご出席くださいました。司会進行を十一回生の須田さん(旧姓吉川)にお願いし、金星会総会にふさわしく讃美歌五二七番を歌って会が開始されました。聖書朗読、祈祷、校歌斉唱の後、渡辺会長の挨拶に続いて、院長先生教頭先生よりご挨拶をいただきました。以上で一部を終了し、乾杯と共に会食となり、懐かしい先生方や友人達との懇親に移りました。食事や楽しい話の間の間をぬって、来賓の諸先生方のご紹介、お話し、出席会員の紹介、新役員紹介や会計及び監査報告もなされました。楽しい福引も用意され、一回生の方の引いて下さる番号に一喜一憂したり、十回生山田さん(旧姓木全)のシャソソや二十回生岡山さんの歌曲に耳をかたむける内には時が過ぎ行き、学院歌の斉唱、閉会の言葉の後、別れを惜しみつつ、讃美歌四〇五番「神ともいいます」を歌って金星会総会を終える事が出来ました。(10回生 小林訓子)

### 啓明のこと

心と身体は「仕える」ために 祿津 茂実

横尾山の西側、正門から入ると正面に「私は道である、真理である、命である(キリスト)」の石碑がある。その後右側に啓明の花キンモクセイが植えてある。今年には特に強い芳香を放ち、並んでシュロの木がある。シュロは旧山手校舎から移植されたが、十年もたつと大きく根つき、すっかり新校舎の土になじんでいる。更に上をみると、校舎壁面に紫色の院章があり、新しく塗りがえられ色鮮やかである。啓明という校名も戦前、生徒達が決めたもの、同窓会名は、明けの明星「金星」である。よいの明星、その名にふさわしく夜空の暗くはじめていちはん最初にくる一番星(いつも一番ではないが)また、校庭より淡路島を見おろす夕日、夕焼けの美しさは格別である。創立七十周年を迎え「啓明」の伝統から学ぶべきことは……

### 大西たつ先生 九十寿祝賀パーティ開かれる

私達、29回生の四人で大西先生のお宅を訪問させて頂いて何年目になるでしょうか?

今年、卒業以来初めての友人も一緒に八月十七日にお伺いいたしました。その時に「車椅子でも行ける所なら行きたいなあ。」と言われましたので、来年の五月頃にも何か計画しようとお話していただきました。ところが林先生にお電話をしてお話をしたら、あのパワーで『よし、すぐに行こう。』と現職の先生方にお声をかけて下さり、私達は29回生の1-G(担任 大西先生)と3-J(担任 林先生)、そして退職された先生方へ御連絡させて頂きました。



大西先生からのお礼状

啓明女学院合同クラス会(大西先生卒業を祝う会)と、ネーミングし、大勢の皆さんのご協力を賜り、当日に漕ぎ着ける事が出来ました。十一月十三日大雨の中、ポートピアホテルに於いて、先生方十六名、20、27、28、29回生、総勢八十一名とその子供達十七人で大西先生を囲み、先生方とお話や卒業以来の積もる話などに大きな花を咲かせました。『五年後にも集まろうか。四十歳になつてしまふ。どうする?』来年の夏の大西先生のお宅へ伺う時は絶対……

### 母校学院祭に参加



梅雨あけやらぬ間に秋の訪れを見た今夏、九月十五日恒例の学院祭・バザーが母校で同窓会の出店を混えて行われました。その日朝までの大雨に洗われた

緑鮮やかな妙法寺の山並みは真っ白な校舎を包んでいました。生徒達の活気ある若きエネルギーが此の日に集結されたかの様に正に真夏日! 紅茶・ケーキ・ハンバーグと用意された喫茶の店を五・六人の在校生の手伝いを得、同窓生八人と共に三時の閉店まで嬉しいことに、終始きりぎり舞いの盛況でした。当初「こんなに沢山食券売れるかな」と心配したが、生徒達自ら呼び込みを楽しんでの協力態勢もあって完売。「同年輩の方はありますか」等の私達への話しかけに何か大きなお互いの繋がりを感じた意欲深い出店に「来年もお手伝いしたい」と嬉しい言葉を在校生から聞き無事終了。又の素晴らしい出会いを祈りつつ解散。(4回生 中村倭文子)



# 母校 ニュース

## 運動部の活動について

運動部部長 阿部 俊

運動部同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

さて、最近の運動部の活躍ぶりについてご報告させていただきます。

今年最大のニュースといえば、やはりサッカー部の大活躍を挙げることにあります。すでに新聞紙上等でご存じの方も多しとは存じますが、夏休みに行なわれました全国大会において本校サッカー部が準優勝というすばらしい成績をおさめました。校内でも、勝ち進むに当たって盛り上がり、準決勝、決勝では神戸ユニバ記念競技場のメイングラウンド（Jリーグのゲームや国際試合が行なわれるグラウンドです）のスタンドに啓明の生徒や教職員、そしてOGの応援が響き渡りました。最後は惜しくも優勝の栄冠を得ることはできませんでしたが、全力を出し切った選手たちには惜しみない拍手が送られました。



その他にも県レベルで活躍の目ざましいクラブがあります。体操競技部は運動部に昇格してから未だ浅いのですが、今年の高体連総体では団体で県5位とレベルの高い演技をするまでになりました。剣道部は県大会の常連となり、近畿大

会や九州の玉龍旗大会にも招待されるほどに評価も高まっています。陸上競技部は県大会で個人入賞するなど、各選手が個々の限界に挑戦しています。

卒業生の皆様が築いてこられた啓明運動部の伝統を受け継ぎつつ、より高く、より大きな目標へと現役一同努力しておりますので、どうぞ後輩たちの頑張りを応援してやって下さい。

その他のクラブの主な戦績  
ソフトテニス部—市総体ベスト16（350ペア中） 県大会出場  
バスケットボール部—市西部私学大会第3位

## 文化部の活動状況

文化部長 湯浅 美樹



本年度よりギター部とフォークソング部が合併し、軽音楽部として新しくスタートしました。校舎移転当時は、26あったクラブも現在はクラブ、同好会を合わせ23となつています。入部率は、「中学47%、高一—34%、高二—40%、高三—42%、全高生では41%」の生徒が文化部に入部しています。

ここ数年の傾向として、タイプ部、吹奏楽部への人気は高く、新入生の入部が多いようです。それに比べて管楽器部の部員が減ってきているのは気になります。文化祭、お弾き初めと大きな催しをりっぱにこなしているにもかかわらず、現代っ子気質というのでしょうか、筆曲部に限らず、じっくり、おちついて物事をやっていくクラブは、部員減少の傾向にあります。顧問としても、生徒に興味をもたせるよう工夫することが今後の課題と思われまふ。

ここで二、三のクラブの活動状況をお知らせいたします。

### 放送部（部員数 13名）

一九九三年三月、第九回高校放送ビデオコンクール参加賞「がんばれ！看護婦さん」。七月、第四十回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会ラジオ自由部門第五位入賞「小さな命」。八月、第十七回高等学校総合文化祭文化連盟賞「School life in Kaimai」。吹奏楽部（部員 38名）八年前、プラスチック愛好会として三

名で発足。現在は吹奏楽部に昇格。一九九一年より私学連合音楽会、県内でのコンクールに参加。本年度は、兵庫県吹奏楽コンクール神戸地区大会金賞。同じく県大会で銀賞を受賞。

### YWCA部（部員 17名）

一九五二年九月発足と大歴史のあるクラブです。最近では、「チャイルド・スポンサーシップ活動」を開始し、タイの農村部に住む五歳の女の子、ハオハーン・アヌジポーンちゃんに毎月、四千五百円を支援しています。このお金は生徒達の募金によるもので、六月から九月まで三万円程集まりました。

### 「チャイルド・スポンサー」になりました

YWC A部（顧問 藤川 勝洋）

YWC A部の活動は、私たちの周りの人に対して出来ることを見つけ出し、具体的に実践することを目指しています。実際の活動の一つとして、視覚障害者の方のために点訳本を作製したり、本の朗読のテープを作っています。また、年に数回、施設訪問をしています。

今年の六月より、新しい活動の一つとして、YWCA部が中心になり、「チャイルド・スポンサー」の働きを始めました。

私は以前、キリスト教のテレビ番組で紹介された「チャイルド・スポンサー」の働きを知りました。世界に目を向けると、開発途上の国々の多くの子供達はただ貧しいという理由で、その日を過ごすために学校で教育を受けることが出来ず、働かなければなりません。豊かな国の一つとなった現在の日本では考えられないことですが、このような現実を知る私たちに出来ることはなにかと考え、YWCA部の生徒達にその働きを紹介をいたしました。生徒達も関心を持ち、学校全体に呼びかけようということになりました。

具体的には、「ワールド・ビジョン」というキリスト教の援助機関を通して、一人の子供の「スポンサー」になり、毎月四千五百円を送ることによって子供とその家族を支える働きです。私たちは女子高ということもあり、同じアジアのタイの「アヌジポーン」ちゃんという五歳の女の子の「スポンサー」になりました。

「スポンサー」を始める前に、教職員や保護者の方にも案内をし、理解を求めま

した。六月より募金を開始するにあたっては、校内に「啓明女学院全体で一人の子供を支えよう」という呼びかけをしました。校内の二ヶ所に募金箱を設置し、五ヶ月立ちますが、月平均約六千円の募金があります。

### 学校でチャイルド・スポンサーを始め

たことをきっかけに、職員・保護者の中からも個人的にスポンサーになった方もあり、うれしく思っています。

又、中学の生徒からの提案で、文房具を集めてスポンサーをしている地域に送ろうということになりました。十月よりこの活動の一環として、文房具を集める箱を設置しました。予想をはるかに超えた量の文房具が集まり、箱の中を回収してもまだ一杯になってしまいました。

集まった文房具やおもちゃなどはYWCA部の部員が整理をし、ワールド・ビジョン・ジャパン事務局を通して、タイやその他の国にも届けて頂きます。

この活動を通して、生徒達が地球の裏側に住む隣の人に関心を寄せ、手を差し伸べる経験をしてもらいたいと願っています。



神戸少年の町を訪問

## 進路状況の報告

進路指導部長 船曳 俊也

「進学」ここ二・三年来、大学等で盛んに進んでいる改組・改編は、学生数の減少期対策としてのみならず、『大学自身の自己変革』であり、半世紀ぶりのチェンジの波と言えましょう。

高等学校としても、『変化に即応』しなければならぬこと、の議論を通して在り方が問われる時が来たと言えましよう。

左に最近三年間の進路概況を報告します。（大学・短大は合格者数）この表には詳しく出ていませんが、一般に難関と言われている「高看」に昨年だけで13名が合格しています。この事はある意味で本校の建学の精神と一脈相い通じるところです。

最近3年間の進路状況 (3年間の合計)	
大学	短大
親和女子 14	関西外語 6
聖和 3	近畿 6
園田 4	相愛 5
姫路独協 8	帝塚山院 2
武庫川女 8	梅花女子 4
宝塚造形 1	阪南 2
神戸国際 2	桃山学院 7
流通科学 5	天理 1
(京阪奈)	(首都圏)
大谷 1	青山学院 1
京都外語 2	明治学院 3
京都産業 2	亜細亜 2
京都精華 1	文京女子 1
立命館 2	東京家政 1
龍谷 1	女子美術 1
追手門 1	神奈川 1
大阪音大 2	(上記以外)
大阪学院 7	川崎医療 1
大経済法 1	福山理 1
大阪芸芸 5	徳島文 1
大阪産産 1	徳島実 1
大阪商大 1	就美 1
関西 1	
短大	浪速 9
(兵庫)	連花 2
池坊 2	梅衣 2
京都芸文 3	羽衣学園 2
京都文化 2	PL学園 2
光華 4	平安女院 3
大阪青山 21	奈良芸術 2
阪音 4	以下各1...
阪大 4	聖泉・華頂・西山 4
阪大 2	京都医療・京都外 4
阪大 2	語・京都文教・成 2
大坂 4	安女・藍野・堺女 4
大坂 4	樟蔭東・国際仏教 4
大坂 5	樟蔭女・奈良文化 5
大坂 8	桜井女・嵯峨美 12
大坂 14	(首都圏)
大坂 42	青山学院 2
大坂 5	以下各1...
大坂 27	帝京女・武蔵野女 5
大坂 51	相模女 6
大坂 26	(上記以外)
大坂 4	美作女 2
大坂 5	以下各1...
大坂 2	作陽・山陽学園 2
大坂 2	
就職	
(業種別)	
製造業 81	
卸・小売業 104	
金融・保険業 29	
運輸・通信業 20	
サービス業 83	
建設業 4	
公務員 5	

「就職」昨年度は一次試験でかなりの人が現在進行中の本年度の就職戦線でも更に厳しい状況が現れはじめています。丁度一年前この号で述べた心配材料が残念ながら的中してしまつたことは心痛むところです。

対策としては、取り立てて言う程のことではないですが、『平素の学習』を通しての実力アップと、遅刻・欠席を始めとする『生活面の点検』が最要点であらうと思われまふ。



# おなつかしい先生方より一言

(順不同・敬称略)

## 修学旅行

教頭 山崎 陳人

同窓生の皆様、お元気で過ごしてのことと存じます。

本学院にお世話になり二年目を迎えた今年、修学旅行に同行させていただきました。北海道では、美しい湖や、広大な田園風景など素晴らしい自然に感激し、野性の鹿や狐の出現には生徒たちと共に思わず歓声をあげたものでした。また、一日の疲れを癒す宿は各地で一流ホテルに宿泊でき、他校の修学旅行では味わえない楽しさでした。聞くところによると札幌のホテルニューオオタニなど啓明以外の修学旅行生は受け付けられないそうです。永年の北海道旅行で啓明の先輩たちの行動やマナーが信頼を得、後輩を支えている現実を実感し、時を隔てた同窓生も、見えない糸で結ばれていることを再確認する旅でもありました。

## 馬に乗るまで牛に乗れ

社会科 末吉 富久男

「同窓生に一言書いて下さい」「なぜ私が、もっとほかに適当な先生が大勢おいでになるのに」「先生も古い先生のお一人ですか」と。

そう言えば私が、啓明に勤めたのは昭和45年万博の年で、途中で啓明に入学生を送る側(公立中学校)に変わったことになりましたが、今年で20余年の縁ということになります。

## 母のしつけ

社会科 岸本 豊



ある時、作家曾野綾子さんの講演を聞きました。その中で「母のしつけ」ということで、次のような話がありました。「私の家は典型的な日本の家庭ですが、母は私をキリスト教主義の学校に入れました。宗教的基盤をもち、苦しみに耐える力をつけた子どもにしようと願ったのだと思います。そして家では、ごはんが炊けること、トイレの掃除ができること、洗濯ができること、洗濯板でのごしごし洗う。これを小学三年ぐらいまでに、きちんとやれるようにしてくれました。なかでも母が一番情熱を傾けたのは、お手洗いの掃除でした。不潔なところを完全にするようにすれば、こわいものはないと母が申しました。

言葉づかいも、親が家庭でしっかりとしつけるべきだと信じています。「犬にごはんをあげる」「子どもに持

よって私自身も大きく成長出来たように思います。この間創立70周年を記念して発行された金星会の名簿を頂きました。一ページ一ページ開くたびに懐かしい名前に出会えます。楽しかった事、みんなで頑張った事、悲しかった事など昨日の事のように頭の中に浮んできます。教育とは教えることだと云われます。私も20年を一区切りとして一から頑張っていくと気持ち新たにしている所です。もうすぐ二十一世紀になります。今以上に生活していく世の中になると思っています。二十一世紀に生きる子供達が信念を持ち幸福な人になってくれることを願っています。金星会のみなさんの一層の御活躍をお祈りしています。

理科 田村 雅俊



女性としておしゃべり出来るようになりたいものです。これはわがクラスの生徒に「こわすぎる」と言われている教師の正直な思いです。

国語科 岡本 玲子



十代の若い生徒達と接するのならば、自分も若い気持ちを持っていなければならぬといつも思っていました。しかし、それを意識していかないといけない自分を感ずる今日このごろです。

大学を卒業し、啓明の教師になって八年が過ぎて行きます。自分の学生時代よりも長くこの啓明にいて、卒業した母校よりも愛着心のあることに驚くことがあります。

国語科 山中 鏡子

啓明に勤めて八年目になります。毎年何百人もの生徒達に出会いますが、いつも不思議に思うことがあります。私という人間は少しも変わっていないのに、卒業後も親しく便りをくれる生徒があつたり、あんなイヤな先生はいないと今でも(多分)恨んでいる生徒があつたりすることです。「相性」としか言いようのないものかも知れませんが、出会いの不可思議さをつくづくと思ひ知らされます。在学時代はどうしても、評価をする、される、叱る、叱られるの関係が前面に出て来てしまいます。卒業したのちには(教師の身勝手な願望ですが)「あんなこともあつたわねえ」と、お互い大人の

卒業生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。それぞれの場で、きつとご活躍のことと思います。

国語科 武井 勝則

手紙のような書き出しになりましたが、実は、突然の依頼を受け、書き出しに窮した結果なのであります。

私が啓明に奉職して、早や十年となりました。その間に、実に様々な生徒諸姉との出会いがあり、卒業という別れがありました。その中で、常に私が思っていた事……。「常にそれぞれの与えられた場で、一生懸命に、一生懸命に生きて欲しい。」と。

社会科 矢吹 光

きつと、それぞれの場を守り、頑張っておられると思います。つらい時、悲しい時、常に母校は横尾の丘にたつています。いつでも会いに来て下さい。主の暦 一九九三年

数学科 中原 圭恵

卒業生の皆さん、お元気で過ごしてはいかが。縁あって、啓明の教壇に立つようになっています。毎年、新しい生徒達と出会い、自分が確実に年をとっていくことを実感しながらも、授業に、クラスに日々格闘しております。(若い先生方

が増えられた職員室の中で、私のようなお母さん先生もきつと必要なんだと自分に自信を持たせながら……)卒業生の皆さんのお元気なお便りを耳にするたびに、共に過ごした日々を懐かしく思い出し、「また、今年も全力で取り組もう」とがんばっています。皆さんのご活躍を心より祈っております。

数学科 中出 恵子

皆さん、お元気ですか? 数学の中出(旧姓、坪井)です。早いもので、今年で十四年目を迎えました。すでに、結婚され、お母さんになられた方も多いことでしょうが、幸甚に、お暮りでしょうか。私事で恐縮ですが、今年、社会人入学試験を受け、母校の関西学院の大学院に通っています。十三年ぶりの学生生活は、とても新鮮です。授業は、難しく、最初、ついていくのに必死で、途中で、ギブアップしてしまいましたが、それでは、何もかも水の泡になってしまおうと、頑張りました。今は、後期の授業が始まり、忙しい毎日を送っています。

皆さんも、チャレンジ精神を失わず、自らを、磨いていって下さい。週末は、啓明に授業をしに来ていますので、また遊びに来て下さい。それでは、皆さん、お元気で……。

月日のたつのは早いもので啓明にお世話になりもう十年になるうとしています。毎年五百人が卒業したとして五千人、一万个の眼に覚えられているわけで、街で、店で郊外でと行く先々でどこでも卒業生に会います。話を聞くと色々な人生を送っていて、平凡な人から、不幸な人、幸福の絶頂にいる人、寂しい人、馬鹿なことばかりやっている人、頑張っている人とテレビドラマ顔負けの人生ドラマに出会います。でもみんな生き生きとしていて、そんな話を聞くと、妙に励まされる気持ちになります。みんな大人になつていて、顔つきも変わり、すっかりしている人が多いです。あまり変わらない自分が何かはずかしいですが、どうぞみなさん幸せになつて下さい。そしてどこかで会ったら、気軽に声をかけて下さい。お元気で。

英語科 横井 美幸

卒業生のみなさん、お元気ですか。三宮の古い校舎で教壇に立つてから、数えきれないほどの出会いを重ねて参りました。時折みなさんからいただく懐かしいお便りに力強く励まされ、また毎日教室で若さに溢れる生徒たちから快い刺激を受け「教師ってこれだからやめられない。」と思うこともたびたびです。

啓明で学ばれた三年あるいは六年の日々が、みなさんの中で大切に温められ、今後のご活躍を支える力となつてくれることを心より祈っております。共に、謙虚に自らを見つめ、自己を愛し、社会的視野を失わぬ女性でありたいものです。お元気で頑張ってください。

## 金星会名簿 今すぐ下記へお申し込み下さい!

〒654-01 神戸市須磨区横尾9-5-1

啓明女学院内 金星会

TEL (078) 741-1506 (代)

名簿代一冊 5,000円 (宅急便・代金着払い手数料含む)



### 主な内容

- B5判、上製本、二三五ページ
- 写真頁(カラーを含む)
- 学院沿革/金星会会則/金星会役員名簿/都道府県別在住者数一覧
- 旧教職員、現教職員名簿



### 啓明O・G青年海外協力隊で活躍

28回生 田中 優子(啓明・家庭科教師)

第三八回卒業の藤原祐祐さんは、現在、南米ポリビアのオルロ市にて青年海外協力隊の一員として活躍しています。

本校卒業後、大阪体育大学に進学し高校時代からの夢であった体育教師となりました。その後、子供たちとのふれあいを世界にの思いを胸に、期待と不安の中、二年間の隊員生活を送る予定で旅立ちました。

彼女からは、月に一度ぐらいの割合で『オルロだより』が送られてきます。その中からポリビア(オルロ)の様子、青年海外協力隊としての生活などを、紹介したいと思います。

『ポリビア共和国』と聞いて何処にあるのだろうと思われ方が多いと思います。南アメリカで周囲をブラジル・ペルー・チリ・アルゼンチン・パラグアイに囲まれた場所です。首都はラパス、人口七九〇万人、母国語はスペイン語です。



地方巡回などはもって大変です。来るべきは車の来なかったり、泊まりとなると、シャワー・トイレ・水・電気など日本では考えられない事まで心配しないといけないようです。地方に行くほど学校の設備も悪く、パンティーストッキング(捨てるようなもの)やぼろ布で作った砲丸で練習をしています。

南半球にあるので季節が日本とは逆になります。ですから私たちが暑いと思ってる時に、彼女たちは、たくさん服を着込んで寒さとの戦いです。朝晩は、零下8度にまでなるというのに家の中にはストーブもありません。夜は早くからベッドにもぐり込み、ベッドを温めながら、手紙を書いたり、本を読んだりしているそうです。

彼女の住んでいるオルロは標高三八〇〇メートル(富士山より高い)。昔は鉱山の町としてさかえましたが、首都ラパスからは三時間、町の南北をバスで四十分くらいで行き来できる小さな町です。彼女はそこを拠点として活動しています。彼女の仕事は体育指導です。まずテキスト作りから始まります。それもスペイ

ン語で、いろんな種目を作らないといけないそうです。陸上の講習会を開いたら、体育の教師が百人も集まり、たどたどしいスペイン語と身振り手振りの説明をしました。それでも熱心に聞いてくれたそうです。そのうえ、ラジオ・TV・新聞社と取材があり、学校に招待されることも多くなってきたそうです。

### 母娘二代啓明に通って



現在約 35名 在学中……

13回生 高岡 靖子(旧姓 公文)

新校舎になった事は以前から聞いており、一度行きたいと思っていましたが、次女がこの度お世話になる事になり、二人揃ってルンルン気分で行きまわりました。余りの立派な校舎、広い広いグラウンド、体育館、それに美しい裏山があり澄んだ空気に大変感激いたしました。私が在学中の時は小さな異人館の様な校舎、名ばかりのバスケットボール部、あの様な立派な体育館をみるとう一度若くなり入部したいと思えます。娘にもすばらしい環境の学院だからいろいろ利用してよい高校生活を楽しく申しております。娘も高二ですが過日、北海道の修学旅行にも行き楽しい生涯の思い出となった事でしょう。学院も大学進学に大変力を入れておられる様です。

15回生 陰山 悠子(旧姓 油谷)

十三年前、主人が癌で亡くなり、若い時興味を持っていたファッション関係の仕事をして、又、しております。現在、啓明の高三に在籍している次女が、まだ五歳でした。十年間は、二人の子供をかかえ、無我夢中でした。再就職して、改めて、六年間の啓明で受けた教育が、自分にとって、意義深いものであることを知りました。長女も次女も、三年間だけですが、啓明の校風を受け継ぐには、中途半端ではないかと思っております。出来るなら時代に応じて、短大が創立されれば、と思えます。長女は、短大在籍中、授洗し、教会生活を続けております。母子家庭になつて十三年間、いろんな人々にささえられてきましたが、県庁の山手の啓明のあのチャペルで、イエス様に出逢った出来事が、私のささえであり、力です。

16回生 吉本 美和(旧姓 高橋)

啓明に入学する事は、本人の希望があつて決めました。今まで学校で、同期生のお子様にあつておりましたが、同じク

又、中学生の時に、英語を教えて頂いた高瀬先生に、我が娘がおなじく英語を教わっている様子を、参観して何かとても懐かしい様な不思議な思いをしました。ただ十数年前と異なる事は、広々とした校舎、体育館、グラウンド、立派なチャペル、恵まれた環境であります。

我が娘たちもこの啓明女学院で感謝しながら、悔いのない様に、恥じない生徒として、頑張ってもらいたいと思っております。

26回生 藤田 陽子(旧姓 上田)

啓明女学院中学高校と、六年間無遅刻無欠席で卒業して、十九年が過ぎました。六年間の思い出は、色々ございすが、的確に覚えております事は、自分の子供も、啓明で学院生活を送る事ができれば良いのにと、夢を見たことでした。その夢が今、実現し、二人の娘たちの、毎日楽しく通学している姿を見ている自分は、とても幸福に感じております。

### 海外からのお便り

20回生 難波ちづ子(旧姓 河北)

アメリカ ロサンゼルス 在住

アメリカ在住十年にもなります。同窓の皆様お元気でしょうか。ロスアンゼルス日本語補習校(土曜日のみ)で小学部の担任をずっとしております。子供達は毎日アメリカンスクールに通い、土曜日は毎日アメリカンスクールに通い、土曜日は日本の国語、算数等を学んでいます。子供達は日本から来てすぐはアメリカンスクールでも言葉が通じず、大変ですが半年で上手に話すようになり、一年もたつと大人顔負けです。特に発音は素晴らしい上達具合です。

20回生 西村 洋子(旧姓 野上)

カナダ、ブリテンシユコロンビア州 カナダの生活が長くなり、こちらの生活に浸ってしまひ、日本がだんだん遠く感じられる今日この頃です。啓明として大阪音大のピアノ科を卒業し、日系カナダ人とこちらで結婚し、バンクーバーから車で四時間の山に囲まれたカムループ市に住んで十七年が過ぎます。ディーン(14歳) アン(12歳) エド(10歳) の三人の子供達もこちらでのびのびと育っております。

26回生 中尾いく子(旧姓 中右)

啓明女学院を卒業して、もう二十年の月日が過ぎました。二十年前には、自分の娘が母校に通うことになるのは夢にも思わなかったことです。娘の制服姿を見て、つい私もこの前のように啓明の生活を思い出します。それは、私の高校時代、母を亡くしいろいろな事があつた。その時、本当に支えになって下さった。諸先生方、友人、忘れ難い事ばかりです。人生で一番多感な時によい出会いが出来たという事は、生涯の自分の宝となつていきますので、娘にも、私以上に、この啓明女学院においてよき思い出と、出会いがあるように願います。

20回生 西村 洋子(旧姓 野上)

カナダ、ブリテンシユコロンビア州 カナダの生活が長くなり、こちらの生活に浸ってしまひ、日本がだんだん遠く感じられる今日この頃です。啓明として大阪音大のピアノ科を卒業し、日系カナダ人とこちらで結婚し、バンクーバーから車で四時間の山に囲まれたカムループ市に住んで十七年が過ぎます。ディーン(14歳) アン(12歳) エド(10歳) の三人の子供達もこちらでのびのびと育っております。

26回生 中尾いく子(旧姓 中右)

啓明女学院を卒業して、もう二十年の月日が過ぎました。二十年前には、自分の娘が母校に通うことになるのは夢にも思わなかったことです。娘の制服姿を見て、つい私もこの前のように啓明の生活を思い出します。それは、私の高校時代、母を亡くしいろいろな事があつた。その時、本当に支えになって下さった。諸先生方、友人、忘れ難い事ばかりです。人生で一番多感な時によい出会いが出来たという事は、生涯の自分の宝となつていきますので、娘にも、私以上に、この啓明女学院においてよき思い出と、出会いがあるように願います。

又、中学生の時に、英語を教えて頂いた高瀬先生に、我が娘がおなじく英語を教わっている様子を、参観して何かとても懐かしい様な不思議な思いをしました。ただ十数年前と異なる事は、広々とした校舎、体育館、グラウンド、立派なチャペル、恵まれた環境であります。

我が娘たちもこの啓明女学院で感謝しながら、悔いのない様に、恥じない生徒として、頑張ってもらいたいと思っております。

26回生 藤田 陽子(旧姓 上田)

啓明女学院中学高校と、六年間無遅刻無欠席で卒業して、十九年が過ぎました。六年間の思い出は、色々ございすが、的確に覚えております事は、自分の子供も、啓明で学院生活を送る事ができれば良いのにと、夢を見たことでした。その夢が今、実現し、二人の娘たちの、毎日楽しく通学している姿を見ている自分は、とても幸福に感じております。

20回生 難波ちづ子(旧姓 河北)

アメリカ ロサンゼルス 在住

アメリカ在住十年にもなります。同窓の皆様お元気でしょうか。ロスアンゼルス日本語補習校(土曜日のみ)で小学部の担任をずっとしております。子供達は毎日アメリカンスクールに通い、土曜日は毎日アメリカンスクールに通い、土曜日は日本の国語、算数等を学んでいます。子供達は日本から来てすぐはアメリカンスクールでも言葉が通じず、大変ですが半年で上手に話すようになり、一年もたつと大人顔負けです。特に発音は素晴らしい上達具合です。

20回生 西村 洋子(旧姓 野上)

カナダ、ブリテンシユコロンビア州 カナダの生活が長くなり、こちらの生活に浸ってしまひ、日本がだんだん遠く感じられる今日この頃です。啓明として大阪音大のピアノ科を卒業し、日系カナダ人とこちらで結婚し、バンクーバーから車で四時間の山に囲まれたカムループ市に住んで十七年が過ぎます。ディーン(14歳) アン(12歳) エド(10歳) の三人の子供達もこちらでのびのびと育っております。

26回生 中尾いく子(旧姓 中右)

啓明女学院を卒業して、もう二十年の月日が過ぎました。二十年前には、自分の娘が母校に通うことになるのは夢にも思わなかったことです。娘の制服姿を見て、つい私もこの前のように啓明の生活を思い出します。それは、私の高校時代、母を亡くしいろいろな事があつた。その時、本当に支えになって下さった。諸先生方、友人、忘れ難い事ばかりです。人生で一番多感な時によい出会いが出来たという事は、生涯の自分の宝となつていきますので、娘にも、私以上に、この啓明女学院においてよき思い出と、出会いがあるように願います。

20回生 西村 洋子(旧姓 野上)

カナダ、ブリテンシユコロンビア州 カナダの生活が長くなり、こちらの生活に浸ってしまひ、日本がだんだん遠く感じられる今日この頃です。啓明として大阪音大のピアノ科を卒業し、日系カナダ人とこちらで結婚し、バンクーバーから車で四時間の山に囲まれたカムループ市に住んで十七年が過ぎます。ディーン(14歳) アン(12歳) エド(10歳) の三人の子供達もこちらでのびのびと育っております。

### 編集後記

祝母校創立七十年「金星会名簿」完成を記念して、昨年に引き続き同窓会会報No.6を発行致しました。会員の皆様、近況・御意見等をお寄せ下さい。

同窓会報の題字「金星」は、今回、No.6より第四回卒業生、中村(旧姓 元林) 倭文子氏による。

